

「町の完全復興」早期実現に向け

決意を新たに

益城町議会議長 稲田 忠則

新

年、明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、日頃から町議会に對しまして、深いご理解と格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

町議会では昨年、定例会および臨時会におきまして、予算、契約、条例などの議案について審議を行い、その結果、およそ110件の議案の承認を行いました。

また、延べ33人の議員が一般質問を行い、熊本地震による復旧・復興事業関連の予算・決算、新型コロナウイルス感染症への対応策、その他町民の生活に直接関わる施策などへの提案を行ってまいりました。

議員提出案件としましては、「ロシアのウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を提出し、一連の侵攻行為によって奪われた多くの尊い人命に哀悼の意を表するとともに、ロシア軍がウクライナの国土から即時無条件で撤退するよう強く求めました。

さらに、議員の政治倫理に関する規律の基本事項を定めることにより、誠実かつ公正な職務遂行を促し、清浄で民

主的な町政の発展に寄与

することを目的に

「益城町議会議員政治倫理条例」を制定しました。

本年も、引きつづき「町の具体的政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」という議会の使命を果たすため、議員一同努力してまいりる所存でございます。

町内では、県道熊本高森線の4車線化工事、木山地区の土地区画整理事業、都市計画道路の整備などの復旧・復興事業が急ピッチで進んでおり、1日も早い完成を願うものがあります。

また、町の中心施設である役場新庁舎の建設も順調に進んでおり、3月には完成し、

5月の連休明けから業務が開始されるということでございます。町民の皆さまに愛される施設になることを期待しております。

私も議会といたしまして、町との連携のもと、「町の完全復興」の早期実現に向け決意も新たに努力してまいります。どうか本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びになりますが、本年が町民の皆さまにとりまして、輝かしいものとなりますよう心よりご祈念申し上げます。心よりご祈念申し上げます。